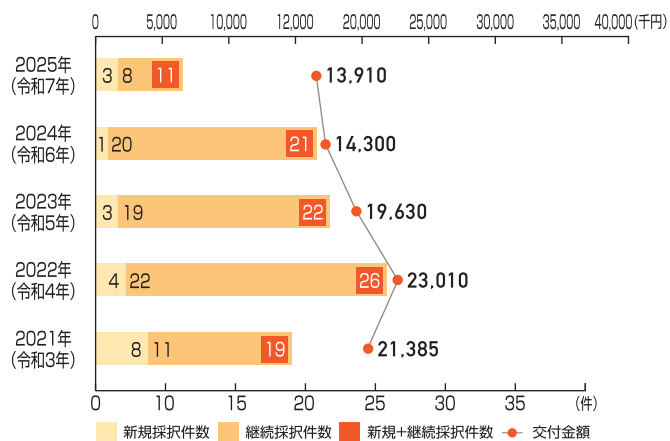


科学研究費

日本の学術振興のために文部科学省が支給する2025年度(令和7年度)の科学研究費の新規採択は**3件**、新規＋継続の採択件数は**11件**。交付金額は**13,910,000円**です。

- 本学では、学内で応募書類作成の説明会を行うなど、科学研究費獲得のためにきめ細かくサポートしています。

科学研究費採択件数および交付金額推移



基盤研究(C) 2025年度採択

証拠提出義務の定立による訴訟当事者間の実質的平等の確保に関する研究

代表研究者 法学部 准教授 笹邊 将甫

研究期間 2025年4月1日～2027年3月31日

民事訴訟においては、情報・専門的知識格差や証拠偏在を原因として証拠を入手できず、結果的に敗訴する問題が継続的に生じている。こうした状況に対応するべく、訴訟当事者には情報・証拠獲得手段に限界が生じる具体的ケースを析出し、析出された状況を克服する手段として、広く訴訟外の第三者までを包括する訴訟上の協力義務(証拠の確保や主張立証に関する責務)を定立・導入することが最も有効かつ適切な手段であることを比較法的考察により明らかにする。そのうえで、最新の議論に富むスイス法を中心とした比較法的考察によって、協力義務の履行を確実にするための理論的・法的根拠を明らかにしつつ、協力義務を課すことに伴う拒絶権のあり方や秘密保持義務との関係性に対する例外措置を明らかにする。以上をふまえて、最終的にわが国に親和性を有する形で解釈論ないし立法論を提示する。

紀要 出版会

良質の研究が良質の教育に結びつくという考えのもと、本学では、研究成果の公開のために、開学した1964年から紀要を発行しています。2024年現在、学部・研究科などから公開しているのは**15タイトル**(電子ジャーナルが7タイトル)。うち、『帝塚山大学文学部紀要』は、開学時初刊の『帝塚山大学紀要』の流れをくむものです。

帝塚山大学出版会は、本学の研究・教育とその成果の発表を助成し、学術関連図書及び教科書の刊行・頒布を目的として、2006年に設立されました。これまでに、さまざまな研究分野の学術書や教科書などを発行し、2025年現在、**33タイトル**の書籍を刊行しています。

自治体・企業・各種団体との連携協定

本学は、地域に開かれた大学として、地域の自治体・産業界と積極的に連携を図っています。大学の知的・人的資産を地域に還元し、学生を地域連携活動に参画させることで、地域の活性化に寄与することを目標としています。

自治体		教育委員会
奈良県	五條市	交野市教育委員会
奈良市	香芝市	
生駒市	北葛城郡河合町	
明日香村	王寺町	奈良市教育委員会
山添村	三郷町	
企業		大学
株式会社南都銀行		多摩大学
株式会社近鉄百貨店	※近鉄文化サロン文化事業	
株式会社日本政策金融公庫		奈良教育大学 ※教員養成
SBI FX トレード株式会社		
SBIリクイティティ・マーケット株式会社		
独立行政法人都市再生機構(UR都市機構)西日本支社		大阪電気通信大学

公的機関ほか	
奈良県立民俗博物館	公益財団法人古都飛鳥保存財団
大阪府立子どもライフサポートセンター	生駒市商工会議所
大阪府中央子ども家庭センター	生駒市観光協会
高知医療センター	奈良県中小企業家同友会
奈良県立図書館情報館	全国「道の駅」連絡会
奈良市観光協会	

公開講座

帝塚山大学は、地域社会への「教育研究成果の還元」を目的として、また、広く社会に開かれた大学として、学びたい意欲を持つ社会人や地域の人々を対象としたさまざまな生涯学習の機会を用意しています。

公開講座は、文化、経済、社会など、本学の教育研究分野に関連するジャンルを幅広く取り上げています。

2024年度で37年目を迎える生駒市図書館との連携講座など、地域の方々から長く愛される講座が多いのも特長です。

施設の開放

地域の「知の拠点」として、本学は、所有する知的資源や施設の一部を開放し、地域の文化向上をめざしています。

附属博物館・考古学研究所



瓦所蔵数 約 **8,000** 点

日・中・韓の幅広い年代・種類の瓦を収蔵。調査・研究に活用するとともに一般に公開もしている

公開講座・展示

附属博物館、考古学研究所の共催で、一般を対象に講座を開催

講座名	開始年度	回数	参加者総数
市民大学講座	1997年	532回	58,573人
歴史考古学研究会	1997年	239回	4,742人

常設展示以外にも、所蔵資料をさまざまなテーマで展示

展示種類	開始年度	回数
企画展示	2008年	18回
博物館実習生による企画展示	2009年	17回
特別展示	2004年	43回



心のケアセンター

地域の人々の心の健康に関する相談施設として、2006年11月に学園前キャンパスに開設。年間2,263人もの相談者が訪れる地域のこころのケアの拠点です。初回面談料が無料となる無料相談週間を設けているほか、親子で参加できるグループ活動なども実施しています。また、当センターは、公認心理師(国家資格)および臨床心理士養成第1種指定大学院の研修機関も兼ねています。

子育て支援センター(まっぼっくり)

子育て支援センターは、2009年4月の現代生活学部こども学科の開設に伴い、地域の子育てを総合的にサポートする施設として学園前キャンパスに開設されました。2020年4月より、大学附置の施設として活動しています。子育て相談のほかに、「つどいの広場」や「親子教室」など、地域の人々が参加できるイベントも多数実施しています。また、当センターは、学生や教員の教育研究の場としても活用されています。

図書館(本館・分館)

帝塚山大学図書館では、学習および学術研究に役立てていただくために、本館・分館とも地域の人々の利用に供しています。(但し、利用には要登録及び年間利用料。また、利用サービスに制限あり) 図書館が所蔵する貴重資料を展示、公開する「貴重書展」や館内施設のアクティブ・ラーニング・スペース「C³」での公開講座など、一般を対象にしたイベントも開催し、生涯学習施設として、地域の学術的な交流拠点の役割も果たしています。